

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係23（米国民政・軍用資産引継調査・交渉Ⅳ）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43741

○ 米国議会 (上院 審議) 15 年 1 3840

電話連絡 (上院外交本部 職用会)

局長

上院外交委員閣下

(10月25日)

46. 10. 25

米北1

本内容有方より電話連絡概要次
とスリ。

1. 時間 10:00 ~ 11:45分

パナマ (田) 防衛、リバー 参事

が証言。

ブルグ、スニ、ツ、T、ニ、ト、

ス、ニ、ク、ク、パー、ジャ、グ、イ、ツ、セ、フ、

各出席。(米北大使も借聴)

セ、フ、ニ、ト、は、リ、カ、リ、ニ、米、北、大、使、に

対し、「沖縄協定は大丈夫、心配なし」

と(米北)由)

2. 一問一答の内容次とスリ。

右
地
之
レ
ニ
ツ
ク

(1) ブルグ、リ、ト、委員より、沖縄基地の

機能にツク質的。パナマ、ト、

「太平洋全体のコンテナスにス、ニ、ツ、

「はい」と(米北)、リ、カ、リ、ト、ト、「主として
兵站機能とスリ」と(米北)。

(2) ブルグ、リ、ト、より、沖縄基地の重要性にツク
質的。

(リ、カ、リ、ト、)

パナマ、ト、より、現状では是非とスリ必要
と(米北)を(米北)。

(3) 企業の問題... リ、カ、リ、ト、に、対、し、略。

(4) スニ、ク、マン、より、米軍撤退の問題にツク

機会。パナマ、ト、より not much と

答之。自己防衛 3,500人 配備、

(米北)

那覇空港からスリ撤退あり(米北)

relocation の問題は未解決) と回答。

(5) 7-10-57、在沖米軍の今後増強
24日22時東京からとの回答に答へ。

11-7-57、右の状況の assessment
に答へたことと回答。

(沖米に核兵器、在米に核兵器の配備はなし)

(6) 7-11-57 nuclear security に
ついで 10-2-57 に (T-T) と答へ

再記。

24日22時、11-7-57の核の存在に

7-11-57 confirm to deny to discuss to
China の政策等と (T-T) 上、T-T

沖米に核兵器はなし、従って 2-11-57
報告に答へることに答へ、と明確に回答。

(7) 7-10-57、種々の金額について。 (0:)

GA-6

外務省

(8) 7-10-57、台湾の重要性について。 (0:)

11-7-57、米軍の今後増強
今後の assessment に答へる。

(9) 7-2-57 ミクロネシアへの進出について。 (0:)

11-7-57、具体的なスケジュール

を含む、決定は 7-24-57、
詳細は内閣省に 11-2-57 答へる。

(7-11-57 核兵器の輸送の問題について) (0:)

7-2-57、米軍の今後増強、
11-7-57、米軍の今後増強、

中国への進出 (共同の問題と見做す) について。 (0:)

GA-6

外務省